

台小だより



生駒市立生駒台小学校
2023年12月21日
学校だより No.13



令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果概要

今年度は、4月18日に「全国学力・学習状況調査」(実施対象:小学6年生)が実施されました。この結果は、児童の学力の全てを把握するものではなく学力の特定の一部を示しているものですが、これを分析して課題を明確にし、今後の学習活動や生活の改善に活かしていくことが重要と考えています。職員間でも確認しあった本校の調査結果の概要を示します。

【教科に関する調査(国語・算数)】

- ・本校の平均正答率は、奈良県平均に比べ国語が少し低く、算数が高い結果でした。
- ・国語では、文の中で漢字を使う問題の正答率が全国平均より5.5ポイント高く、日頃から漢字の読み書き等、基礎的基本的な学習に繰り返し確実に取り組んでいることが分かります。一方で、「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」「必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えること」に課題があることが分かりました。
- ・本校では「自分の思いや考えを伝え合う力を育む」ことに重点を置いて授業研究や研修を進めています。伝える力を高めることで本校の児童の課題を克服していきます。
- ・算数では、加法と乗法の混同した式の計算や、百分率で表された割合など、普段児童が比較的苦手とする設問において、正答率が全国平均より5~6ポイント高値です。児童がつまづきやすい内容(単元)について、学校では特に丁寧に指導していますが、児童も熱心に学習に取り組んでいることがうかがわれます。
- ・与えられた情報や問題に対して、その理由を言葉や数で記述する設問の正答率が、全国や県と同様に本校でも低い結果です。問題を解決する際に必要な情報を主体的に見出したり、適当な数値を当てはめたりして考え、その理由を言葉や数で記述する機会を普段の授業の中で多く取り入れていきたいと思います。
- ・「すべての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した児童の割合は、国語79.3% 算数78.4% で、どちらも全国平均より1ポイント低い結果です。また、無回答率は、算数は低いですが、国語は後半になるにつれて高くなっています。



生駒台小学校 学校目標 「歩いていこう 自分から」

- ・普段から授業に「書く力を高める」活動を多く取り入れるとともに、全国・学力学習状況調査の問題を授業に活用し授業改善につなげていきます。

【学習状況(児童質問紙)】

- ・「自分にはよいところがあると思うか」「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思うか」に肯定的な回答は、それぞれ82.9%と88.9%でした。これからも学校生活の様々な場面で児童が自分の役割を果たし満足感や達成感を得られる機会、集団活動の中で自他のよさを認め合いながら主体的に取り組む機会等の充実を図ります。



- ・「いじめはどんな理由があってもいけない」に肯定的な回答は、97.4%。「人が困っているときは進んで助けている」は90.6%です。引き続き「いじめ防止基本方針」に沿って、いじめを絶対に許さない心の育成に努めていきます。

- ・家庭学習について、1時間以上と回答した児童は、平日で51.3%、休日で44.0%。

「家で自分で計画を立てて勉強しているか」に肯定的な回答は59.9%でした。家庭学習の時間の目安が「学年の数字×10分」であることを考えると、6年生で1時間程度の家庭学習の定着が必要です。低学年のうちから、家庭と連携し学習の習慣づけを行い、自主的に学習する態度を養うことが必要であると考えます。

- ・「今住んでいる地域の行事に参加しているか」「地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがあるか」に肯定的な回答は、それぞれ62.4%と79.5%と昨年度よりも高くなり全国や県平均と比べても高値でした。感染症による行動制限が少しずつ減り、



様々な行事が以前のように行われるようになってきていることがうかがわれます。学校ではキャリア教育にも力を入れて取り組んでいますが、学びを実生活と結び付けて、よりよい地域社会をつくる一員としての自覚の向上を図る取組も必要だと考えます。今後も、地域学校協働活動などを通して、地域社会と連携した教育活動を行っていくことが重要だと考えています。

- ・「学校に行くのは楽しいか」に肯定的な回答をした児童は89.8%で、昨年度より向上が見られ、県・全国よりも高い結果でした。また、「友達関係に満足しているか」「普段の生活の中で、幸せなきもちになることはどれくらいあるか」にも90%程の児童が肯定的な回答でした。これからも児童の様子を把握し、一人一人の思いに寄り添ったかわりを持ちながら、どの子にとっても楽しい学校生活が送れるよう支援をしていくことが必要であると考えています。

「学校に行くことが楽しみと誰もが思える台小」を目指して、今後も取組をすすめていきます。

